

消防年報

令和2年度刊行

松江市消防本部





松江をめぐる、乗り合い小船 堀川遊覧船

松江のシンボルでもある国宝松江城を囲む堀は、一部築城（1611年）と同時に造られ、今もそのままの姿を残しています。このように城と堀が当時のまま現存する城下町は全国でも珍しいものです。

この堀をゆっくり小船でめぐる「堀川遊覧船」は、松江城下の懐かしい日本の風景、小泉八雲ゆかりの地、築城400年の時を超えその姿をいまだに残す森の自然・四季、堀の美しさを楽しむことができます。

春には松江城の桜景色を、夏には涼しげな気持ちにさせてくれる風鈴船を、秋には夜間運航で、普段の景色とは異なる幻想的な松江水燈路の風景を、冬はこたつ船で暖まりながら冬の景色を楽しむことができ、また、船頭さんの名調子も名物となっています。

はじめに

この年報は、令和元年中における当消防本部の消防業務を広く紹介するために刊行したもので、消防業務の内容・火災・救急統計等を中心に収録いたしました。

消防行政の現況をご理解いただき、今後ともより一層のご指導とご協力を賜りますとともに、防火思想の高揚を図るためご活用いただければ幸いと存じます。

松江市消防本部



市民憲章

私たちは松江市民です。雄大な日本海、美しい中海と宍道湖、八雲立つ山々にいだかれた松江がだいすきです。

私たちはこのかけがえのない自然を守り、先人のつちかった歴史を誇りとし、住む人に希望と勇気を与えるまちにします。

私たちは訪れる人にもてなしの心で接し、新しい松江のまちを築くため、手をとりあって進みます。

- 一、 青い海と湖、緑あふれる美しい自然のめぐみを大切に、きれいなまちにします。
- 一、 人の立場を重んじ、すこやかで心にゆとりのある、明るく住みよいまちにします。
- 一、 礼をつくし勉学にいそしみ、未来にはばたく、希望にみちたまちにします。
- 一、 はるかな歴史のいとなみと、つちかわれた文化をうけつぎ、心ゆたかなまちにします。
- 一、 働くことによるこびと誇りをもち、活気がみなぎる、いきいきとしたまちにします。



消防訓

伝統ある消防精神を重んじ、消防人としての誇りと使命感をもって市民の信頼と期待にこたえるため、ここに消防訓を定める。

- 一、我々は、常に奉仕の精神で市民の安全を守る。
- 一、我々は、消防の知識及び技術を研鑽し、あらゆる災害に不撓不屈の精神で臨む。
- 一、我々は、常に規律を重んじ、誠実かつ迅速に職務を遂行する。

平成 24 年 4 月 1 日制定